

2011年(平成23)4月

カルメル
霊性センターニュース



2011年4月

264号

DE IMITATIONE CHRISTI
キリストにならう バルバロ訳



第一卷

第二十章 孤独と沈黙とを愛する

3 安心感のある人生

聖人たちは安心感と共に、つねに神へのおそれを合わせもっていた。彼らは完徳と恵みとに輝いていても、なおかつ、善行をなし謙遜を養う努力を忘れはしなかった。一方、悪人の安心感は、傲慢と自負心から出ているもので、結局は彼らの損害になる。自分でよい修道者、敬虔な隠遁者のように思えても、この世にいる間は、自分自身にまったく安心しきれるものではない。

4 滅びる危険

非常にすぐれた人だと評判になっていた人が、自分自身を過信して、滅びる危険にさらされることもある。だから、多くの人にとっては、何の誘惑も感じないより、ときどき誘惑にあうほうが益になるのである。それは自分こそ安全だと過信しないように、高ぶらないように、また外部の慰めにおほれないためである。

ああ、はかない喜びを求めず、世間のことにかかわらない人があれば、彼はどんなに清い良心を保つことであろう！むだな心配を断ち切って、救いのこと、神のことだけを考え、すべての信頼を神にかける人があれば、彼は、どれほどの平和と静けさを保つことであろう！

心の泉



神の力 神の知恵とは
キリストのこと。

なぜなら
神の愚かさは 人間より賢く
神の弱さは
人間より強いからです。

1コリ1・24,25



今年のご復活は少し遅く、四月末ですので、四月大半は四旬節・・・それで、マリー・エウジェンヌ師の十字架の道行きの一部をお届けします。

——イエス倒れる——

主よ、力尽き果てあなたは倒れる。強き神、体も魂も神性に満ち満ちておられる方が打ちひしがれ、今、地に付しておられる。

使命を果たしておられるというのに、力はますます衰えてゆく。

敵は勝ちどきをあげ、いまや勝利に疑いも抱かない。

イエスよ、こんなにも痛ましい姿でおられるあなたを拝みます。

あなたの力、そして弱さを・・・神の霊はあなたを離れ去ったのでしょうか。

いやむしろ逆に、これこそ神の霊がおられることのしるし。聖霊はしばし、相反する印象を同時にもたらしめます。弱さを感じることに、これこそが聖霊の現存のしるし。なんと奇妙な論理！ この意味を、主よ、わたしたちに理解させてください。弱さを感じることに、転ぶことが信頼の土台となり、聖霊の助けを呼び求めるきっかけにならなければならないということ。

——イエス十字架に死す——

「私の神、私の神、どうして私を見捨てられたのか。」心の闇夜、ほとんど絶望にも近い嘆き。「すべては成し遂げられた」。「父よ、私の霊をみ手に委ねます」……そして、息を引き取られる。

イエスよ、あなたの最後の息を頂き、その行方を追ひ、その息吹にのって父のもとに行きたい。私の魂も、あなたの息吹に運ばれてゆきますように。

私の魂があなたの苦しみにより、大きく広がり、豊かな実りをもたらしますように。神の息吹 イエスの息吹

受肉されたみことばよ、その息吹をいただきたい、自分のものになりたい。東北関東大震災の大きな試練のうちに、復活されたキリストの命の勝利への希望をさらに深めて、よいご復活を！

伊従 信子
ノートルダム・ド・ヴィ

エデンの園 (6)

くのり
九里 彰

原罪の結果、人間の知性の目は開け、客観的な認識が可能となる。それは、自分自身に対しても可能となる。それゆえ、アダムと女は、自分たちが裸であることに気づき、恥ずかしさを感じるようになる。それ以前、「人と妻は二人とも裸であったが、恥ずかしがりはしなかった」(創2:25)のである。こうして、二人はいちじくの葉をつづり合わせた腰巻を作る。

要するに、鏡の中の自分を見るように、人間は、自分から距離を置いて自分自身を眺めることができるようになったのである。それは、単に私たちの外面だけでなく、内面をも見ることを意味する。すなわち、自分の体や行動や言葉といった五官で捉えられるものだけでなく、その時の考えや感情や思いを振り返り、反省するようになるのである。もちろん、これはあくまでも或る程度までであって、完全ではない。

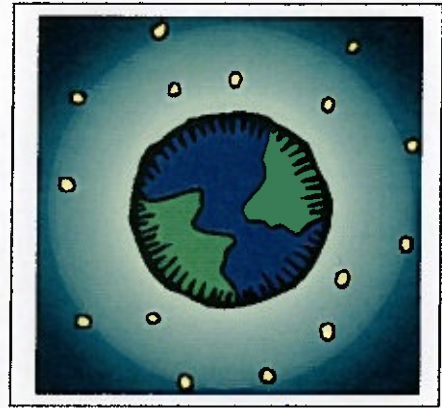
その日、風の吹くころ、主なる神が園の中を歩く音が聞こえてきた。アダムと女が、主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れると、主なる神はアダムを呼ばれた。「どこにいるのか」。彼は答えた。「あなたの足音が園の中に聞こえたので、恐ろしくなり、隠れております。私は裸ですから」(1:8-10)。

神は今もなお人類に向かって「どこにいるのか」と問われているのではなかろうか。なぜなら、アダムと女は、神が近づいてくると、「主なる神の顔を避けて、園の木の間に隠れる」からである。現代人は、「神などいない、神はどこにいるのか」とつぶやき、神を苦勞して探し求めるが、実は、驚くべきことに、神の方が私たちを探し求めているのである。キリストの喩えで言えば、まさに私たちは、「見失った羊」であり、「無くした銀貨」に他ならないのである(ルカ15:1~10)。

十字架の聖ヨハネは、『愛の生ける炎』の中で、次のような有名な言葉を残している。

まず何よりも先に知っておくべきは、靈魂が神を探し求めるとすれば、神であるその愛する方は、はるかにまさる愛をもって、靈魂を探し求めておいでになるという事実である(「第三の歌」28)。

ヘンリ・ナーウエンの 旅路の糧 (142)



世界のように広い心

私たちが諸聖人の交わりの一部であると気づくことは、私たちの心をこの世界のように広くしてくれます。私たちが愛する時の愛は、単に私たちの愛ではありません。それは、私たちの内に生きておられるイエスと諸聖人の愛なのです。イエスの霊が私たちの心の中に生きているならば、その霊の内に生きていてすべての人々も、私たちの心の中に生きています。私たちの両親や祖父母や曾祖父母、私たちの教師や彼らの教師、私たちの牧者や彼らの牧者、私たちの霊的指導者や彼らの霊的指導者…すべての聖なる男女——彼らは愛のあの長い列を形づくっているのです——は、イエスの霊が住むことを選んだ私たちの心の一部なのです。

諸聖人との交わりは、人々の間のつながりの単なるネットワークではありません。それは、まず何よりも私たちの心の共同体なのです。

(1113)

だれに対しても開かれている扉

イエスは、神の内に、神と共にある命への扉です。イエスは、「私は門である」(ヨハ 10:9) と言われました。「私は道であり、真理であり、命である。私を通らなければ、だれも父のところへは行けない」(ヨハ 14:6) と。しかし今もなお、多くの人々はイエスのことについて一度も聞いたことがなく、また聞くこともないでしょう。彼らは生まれ、人生を過ごし、イエスやその言葉に触れることなく死んでゆきます。彼らは滅びてしまったのでしょうか。御父の家には、彼らのためのスペースはないのでしょうか。

イエスは、すべての人々のために、神の家の扉を開きました。扉を開いたのはイエスであることを一度も知らなかった人々や、これからも知らないであろう人々のためにも、その扉を開いたのです。彼が送った聖霊は、「思いのままに吹く」(ヨハ 3:8) ので、扉を通してどの人をも神の家へと導くことができるのです。

(0803)

(九里 彰訳)

*****みことばのひびき*****

四旬節第4主日 (A) ヨハネ 9:1-41

本日の福音で、私たちは神を慎重に選び、信仰を持つようにと促しを受けています。エフェソ人への手紙で、パウロは闇の働きをやめ光の子のように生きるように促しています。闇から光への旅のテーマは福音書で生まれつき目の見えない人の奇跡の話で表されています。世の光であるイエスに会うまで、この人はずっと闇の中にいました。イエスに目を触れて頂き、シロアムの池に行くようにというイエスの勧めに従って、見えるようになりました。このエピソードは、煩わしいしきたりのある生活から確信して生きる生活へのキリスト者の旅を4段階で展開しています。

a) 真の好奇心の段階

このエピソードは生まれつき障害のある人は両親の罪によるというユダヤ人の考えを表わす弟子たちの質問から始まります。イエスは、そうではなく、神の力と栄光を表わす機会だといわれます。生まれつき目の見えない人のまわりの人は、どうして見えるようになったのか不思議に思います。これはイエスの働きを群衆に示す機会となります。遅かれ早かれ、神は真の好奇心に報いてくださいます。

b) 偏見のある疑いの段階

ファリサイ派の人たちは、この奇跡に疑いをもちます。彼らはそれが奇跡でないと証明できないので、イエスが安息日に働いたと非難します。偏見をもって疑っている彼らは目の見えないままだとイエスはいわれます。

c) 不確実さと駆け引きの段階

生まれつき目の見えない人の両親は、イエスの力を体験しますが、ユダヤ人の評議会を恐れていました。評議会はイエスがメシアであると公に言った人を破門すると決めていました。不確実さから、両親は駆け引きでイエスの力について何か言うことを避けました。両親は息子に聞くようにファリサイ派の人に言いました。

d) 確信の段階

目が見えない人がとった姿勢は確信の段階を表しています。彼はイエスの力を経験しています、公然と奇跡について語り、評議会の前で勇敢に証言し、確信をもってユダヤ人の権力者と議論し、イエスの弟子になるように人々を招き、イエスは主であると信仰を告白します。彼の両親から無視されたり、権力者たちに反対されたのに、イエスへの信仰を持ち続けました。

四旬節は、私たちがイエスの力を発見し、確信をもってイエスを預言者であり、人の子であり、私たちの生命の主であると宣言できるように私たちの目を開かせようと招いている季節です。目の見えない貧しい人は、視力を頂いただけでなく、イエスとの出会いの結果として彼の心は光で満たされました。キリストはこの世の光であり、私たちの生命の光です。私たち自身の生命に、世に、どれほど光を必要としているかしばらく考えて見ましょう。

(Sr. Paulina)

四旬節第五主日A ヨハネ 11, 1-45

「死んでいた人が、手と足を布で巻かれたまま出てきた。顔は覆いで包まれていた」(ヨハネ 11, 44)。

今日の福音は、「ラザロの復活」と、しばしば呼ばれていますが、しかし、「復活」とは、本文ではどこにも明記されてはいません。新共同訳聖書は、小見出しとして、「イエス、ラザロを生き返らせる」との表現を使用しています。「生き返り」と「復活」とは、似ている側面もありますが、まったく次元の異なる出来事です。上述の語句は、「生き返り」と「復活」の違いを示唆する手がかりとなっています。これを、イエスの復活の朝の記事、「空の墓」についての記述と比較してみましょう。「彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じところには置いてなく、離れたところに丸めてあった」(ヨハネ 20, 6-7)。イエスによって生き返らされたラザロは、手と足を布で巻かれたまま、顔は覆いで包まれたままであったのに対して、復活者イエスは、身体を包んでいた布も、顔の覆いも、すべての束縛するものを内から打ち破り、脱ぎ捨てている、ここに、生き返りと復活の相違が見えてきます。同じことが、イエスが「石を取りのけなさい」と言われ、「人々が石を取りのけた」と、復活の朝の出来事、「墓から石が取りのけてあるのを見た」(この石を取りのける行為の主体は神であるのですが)との相違にも言えます。

「生き返り」は、確かに、死が人間の運命の終局ではなく、死を超えて力を輝かせる方として、イエスがおられる、わたしたち死ぬべき者たちのおられることを明確に示します。しかし、「生き返り」は、結局、死ぬ運命にある地上の生命への帰還、現世の生命の時限付回復にすぎません。一方、「復活」は、地上の生命に戻ってくるのではなく、地上の命が、神の永遠の生命の中に完成される、別の言葉で言えば、過ぎ越させられるのです。それで、「生き返り」と「復活」、二つの間には、類似している側面もあるのですが、厳然とした相違、断絶、飛躍があります。さて、イエスは、愛しておられたラザロの死を前にして涙を流し、激しい心の動きを覚えられた(ヨハネ 11, 35-36)、そして、ラザロを生き返らせた。しかし、この愛のために友を生き返らせたことが、ユダヤ人たちのイエスの殺害、死を望む意思を決定的なものとし(参照ヨハネ 11, 45-53)。イエスは愛のゆえに友を生き返らせ、その帰結の十字架の死をも受け入れ、いのちの過ぎ越し、復活するのです。福音では、このイエスの愛を梃子として、「生き返り」が、「復活」の真実な意味での前表とされています。ルカ渡辺幹夫

枝の主日(A) (マタイ27:11-54)

苦しみを通してのわたしたちの救い

受難の主日(枝の主日)から聖週間が始まります。この一周間教会は、聖木曜日に最後の晩餐と初めての聖体祭儀を、そして聖金曜日にキリストの死を記念します。イエスが私たちのために耐え忍んでくださったことは、私たち一人ひとりを唯一の相手と見てくださる神の絶大な愛の表明です。さらに又、私たち自身がイエスの苦しみ、死、復活の“神秘”を自分のものとして生きる時、私たちは全ての罪と悪の奴隷状態を過ぎ越し、解放されて、喜びと自由の生活に向かって行くことを経験します。

今日の典礼は“勝利”と“悲劇”両方のセンスを兼ね備えています。先ず、私たちは王であるキリストの勝利を記念します。祝別された棕櫚の葉を手に聖歌を歌いながらの行列を通して行います。ミサのことばの典礼において、私たちはイエスに浴びせられた苦しみと侮辱の言葉を聞きます。この“悲劇”の中に“勝利”があることを心に留めなければなりません。キリストは、はっきり言って、この目的のために、キリストの死において、その死を通して私たちを救うために来られたからです。

マタイ福音書のキリスト受難の朗読は私たちの心を捕えます。神はもろく傷つきやすい完全な“弱さ”をもって、わたしたちのところに来てくださったからです。御父は不在のように見えます。何もなさらず、人がご自分の御子イエスに対して行う極悪の行為を阻止しようとはなさいません。あたかも最愛の御子を見捨てておられるかのようです。なぜ御父は何もなさらないのでしょうか？御子が十字架の上であえぎながら、息も絶え絶えに苦しんでおられるとき、神はどこに隠れておられるのでしょうか？

邪悪と罪悪が叫び、金切り声をあげ、破壊するとき、神は沈黙のうちに留まっておられます。神の御子のいのちが消されたそのときです、神は語られません。大きな声ではっきりと語られます。そこには復讐、攻撃、破壊的なものはなにもありません。神は、ピラトやローマの兵隊、大祭司たち、そこに居合わせた人たちの命を奪おうとはなさいません。その代わりに私たちとの間にある帳(とぼり)を開け、御自身を見えるものとなさいます。イエスはことごとく“ご自分を空にし”、御父の霊で満たされた者となりました。イエスは何ものにも執着せず、全てのものにご自分を明け渡しておられます。このイエスのように行動する勇気が、私たちにあるのでしょうか？

死は、社会正義と人間解放のための苦闘のプロセスの一部である。それは体の死、また名誉、財産、権力を放棄する精神的な死の場合もある。若い死、また年を重ねての死の場合もある。完全な人間解放というイエスの偉業に従いたいと切望する者は、多くを苦しみ、最後まで苦しみを引き受ける覚悟がなければならない、とイエスは我々に示しておられる。(Tissa Balasury)

主の受難、死、復活に結ばれた、祈り豊かな聖週間を！

(Sr. Paulina)

復活の主日 ヨハネ 20, 1-10

「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません」(ヨハネ 20, 2)。

復活の日に、この福音を読むと、ある種の肩透かしを食ったような気がします。と言うのは、復活の爆発するような歓喜と賛美の声が聞こえないからです。聞こえてくるものは、「わたしたちには分かりません」、「二人はまだ理解していなかったのである」と言った、戸惑い、あるいは、茫然自失して立ちすくむ人間の懐疑的、否定的な声です。この二つの声に挟まれるようにして、人間が自分で起こす行動、また、自分の感覚、能力で積極的に確認、肯定できる出来事が述べられてきます。マグダラのマリアは墓にいった、石が取りのけてあるのを見た、弟子たちのところへ走って行って告げた、弟子たちも墓に着いて、イエスの身体を包んでいた亜麻布と覆いが置いてあるのを見た。この一連の行動の結論は、「見て、信じた」とありますが、何を信じたのでしょうか。婦人たちが告げた「主が墓から取り去られました」、「空の墓」、この信じがたい報告が、真実であることを信じたのです。それは、まだ、「空の墓」の真実の意味を把握したとは言えません。イエスの復活を信じることではありません。結論を先走って言えば、人間の感覚、経験、知恵で把握できるものの線上には、復活者イエスとの出会いはないからです。人間の感覚、知恵の枠の超越、人間能力のある種の停止の空しさの中に立ち止まっていることが、求められているのです。

「マタイによる福音」には、「空の墓」を前にするもう一つの人間の反応が報告されています。「祭司長たちは長老たちと集まって相談し、兵士たちに多額の金を与えて、言った。『弟子たちが夜中にやってきて、我々の寝ている間に死体を盗んで行った』と言いなさい。・・・この話は、今日に至るまでユダヤ人の間に広まっている」(マタイ 28, 12-13, 15)。これは、「空の墓」を前にして、自分自身と他の人々を納得させようと見える回答を捏造し、安堵する人間の態度です。そして、復活の福音に永久に心を閉ざす心の構えです、なぜなら、人間の頭で、すべては把握できるはずだとの思いでいっぱいになっているのですから。マリアや弟子たちの「分かりせん、理解していなかった」、これは、「空の墓」を前にして、人間の内部から浮かび上がってくる解決、説明ですべてを満たそうとはしない空しさの証しです。この空しさ、それは、人間の能力の限界を認めることでもあるのですが、この空しさを聖霊が満たして、はじめて、「主イエスはまことに復活した」との歓喜の爆発があるのです。 ルカ渡辺幹夫

十字架の聖ヨハネ こぼれ話 (46)

ホセ・ヴィセンテ・ロドリゲス o.c.d.

グラナダからマラガ

すでに私たちは、ヨハネ修士がヘロニモ修士のぼかでかい頭の上に手をやり、頭に落ちてきた瓦の傷をいやしたことを見ました。同じその手がある修道女の頭をもらいやしたことを、再度見ることにいたしましょう。

出来事は、次のようなことでした。1584年の6月に、マラガに男子跣足カルメル会の修道院が創立されました。すでにその時、女子カルメル会の修道院も創立しようという考えもありました。しかしそれは、それほどではなかったにせよ、遅れました。12月6日には、すでに創立の許可を、管区長の神の母のヘロニモ神父(グラシアン)は、受け取っていました。管区長は、リスボンの女子カルメル会の創立のために数日出かけなくてはならなかったため、マラガの創立のために十字架のヨハネ神父を送りました。ただちに彼は一軒の家を借り、創立のために修道女たちを選出し、旅に出ました。

聖職者や修道女や修道士や世間の人々が一緒になったこれらの創立の旅には、絶えず顕著なことや忘れられないことが起こりました。それらについては、ずっと後になって、ちょうどイエスのテレジアがよくそうしていたように、なつかしきや感嘆やユーモアをもって語られました。グラシアンと連れのは上述のように、リスボンへの旅を続けていたところ、すでにポルトガルとの境まで来ていた彼らに次のようなことが起きました。つまり、一匹の怒り狂った犬がイエスのアントニオ神父に突進して行き、馬から突き落とし、仲間の一人が乗っていた馬に噛みつきました。それからグラシアン神父を襲いました。「その犬から身を守った数人の農民が叫びながらやってきました。怒り狂った犬は、すでに一人の修士を突き落としていました」。ドン・ペドロ・セレンが乗っていた馬を噛みました。ドン・ペドロは剣を抜き、犬を殺しました。その後、噛まれた二頭の馬は死にました。その犬の怒りは、女子カルメルを創立しようとしていたことに対する悪魔の怒りの爆発であったことは、言うまでもないでしょう。ご降誕祭も近く、「その時期に犬が狂暴になることはなく、通常は夏の乾燥した時期に渴きから狂暴になることはあったのですが」。

…ケリトの水にうるおされて…

カルメルの聖人たちの祈り

23. 福者テトス・フランスマ (1881-1942) — その4

福者テトスは、1881年2月23日、オランダ北部のフリースラント州(フリジア地方)に生まれた。オランダではカトリック信者は少なく、当時、カトリック信仰が禁じられていたにもかかわらず、家族は熱心なカトリック信者であり、フランシスコ会に入会した兄と、修道女になった三人の姉妹がいる。彼自身、幼いころから司祭になることを志し、1898年9月、オランダ南部のボクスメールで履足カルメル会に入会。修練期の間、アビラの聖テレジアの著作に親しむようになり、その翻訳を手がけ始めた。1905年司祭叙階、1909年、ローマの教皇庁立グレゴリアン大学で哲学博士号取得。オランダに帰国して、神学生の養成に携わる。教授職の傍ら、カルメル誌を創刊し、1916年には、アビラの聖テレジアの著作の翻訳を進めるためのグループを結成、他方で地元の新報の編集者に選ばれるなど、ジャーナリズムの分野でも活躍する。1923年に創立されたナイメーヘン・カトリック大学の設立にも関わり、哲学と神秘神学史を教えた。

ジャーナリストとしては、世界の善益のためにメディアを積極的に活用し、真実を公言してナチスに抵抗、ナイメーヘンでは学生から慕われる教授であり、神秘神学の講義においては、自身の深い祈りの生活の実りを語っていることを感じさせていた。カルメル会においては、共同生活を重んじ、すべての勤行に参加した。十字架の神学に深い興味を抱いており、それは、彼の未来を準備することとなったようである。

1942年1月、ナチスにより逮捕される。彼は自分を逮捕しに来た人をも許し、イエスの足跡に従った。ナチスは彼を最も危険な敵対者とみなし、収容所を転々とさせた。獄中で、詩を書き残した他、アビラの聖テレジアの伝記を書き始めたが、未完のまま終わっている。8世紀にフリースラントの地に初めて信仰を伝え殉教した聖ボニファチウスをまつる教会のために書かれた十字架の道行きの黙想も、獄中でしたためられたものである。1942年7月26日、ダッハウ強制収容所で石炭酸の注射により殉教、訪れるところには、どこにでも——ダッハウにさえ——幸福をもたらしたその生涯を終えた。1985年11月3日、教皇ヨハネ・パウロ2世により列福。聖テレジアと十字架の聖ヨハネを深く愛したテトスの列福は、履足・跣足の両カルメル会にとつて大きな喜びとなった。



福者テトス・フランスマ

— 祈り —

十字架の道行きの黙想——聖ポニファチウス教会のために

第2留 イエス 十字架を担う

私の神よ、彼らがあなたを釘付けにするのを望んだあの重い十字架を、あなたは担わなければならないのでしょうか。私の神よ、それは不可能です。あなたは、すでに、あまりにも苦しめたのですから。大量の出血のために、あなたは残っている力を使い果たしてしまわれました。それなのに、処刑人たちは、あなたが生きて山頂にたどり着くだろうと考えています。そのうえ、さらに恐ろしいことが起こるでしょう。あなたが抱いておられるその十字架にあなたの引き裂かれた御体は釘付けにされ、十字架があなたの御体を担うのです。あなたは十字架を前にして震えておられます。あなたにまだ力が残っていたとしても、このことをお考えになれば、カルワリオまで十字架を担うことはおできにならないでしょう。彼らは次の責め苦を与える前に、一瞬だけでもあなたを休ませることはできなかったのでしょうか。処刑の行われるところまで、ひとりで十字架を担わせるという残酷な責め苦だけでも、免除することはできなかったのでしょうか。あなたは、十字架なしでさえも、ご自分の道を進んでいくための力を、すでに使い果たしてしまっておられるのです！ 罪は休むことを知りません。罪の欲求は、決して満たされることがありません。処刑人たちの力は、間断なく犠牲者を押しやります。屠り場に連れて行かれる小羊のように、あなたは、身をまかせておられます。あなたの御唇からは、何の不平ももれません。

いいえ、十字架の重い荷に耐えかねて、体をかがめてしまわれるときにも、あなたの目はあたかも、この世のものならぬ王の玉座を見つめているかのように、聖なる炎で輝いています。彼らは、4本のゆがんだ釘によって、あなたをその玉座から引きずりおろしたいと考えています。十字架の木を抱きしめられたその一瞬、あなたは力を取り戻されたように見えました。彼らはあなたに無理強いをしなければならないと思っていました。しかし、あなたは、私たちが自分で担うことを望まない罪のゆえにその荷が一層重くなったとしても、苦味に満ちた目的地にまで重い荷を担っていかれます。あなたをお助けする人は誰もいません。あなたの目は、その十字架を担う心構えのある人を探しますが、誰もいないのです。圧搾機にかけられるぶどうのように、あなたの御体から御血の最後の一滴が搾り出されるまで、あなたは身をまかせなければなりません。おお、十字架よ、おお、聖なる木よ、それは私の神の御手の中にあります。確かにそれは重いのですが、主が最後の力をふりしぼってそれを担ってくださるのですから、私もそれを自分の身に引き受けたいと望みます。今や、私のイエスが私の前を進み、私の肩の荷を担うことを易しくしてくださるのを見ています。おお、神よ、私は、十字架の道行きを「たどる」だけでなく、あなたとともに十字架を手に取りたいのです。それは、あなたが私に渡してくださる私の十字架ですから。私の十字架を担いながら、聖なる山まであなたのお供をしたいのです。

* * * * *

この記事は、跣足カルメル在会会員ベニー・ヒッキー氏が編集された *Drink of the Stream: Prayers of Carmelites* (Ignatius Press, San Francisco, U.S.A., URL <http://www.ignatius.com>) の中から、出版社の許可を得て、抜粋・邦訳したものです。

(注) タイトル中の「ケリトの水」とは、主が預言者エリヤに言われた、「ここを去り、東に向かい、ヨルダンの東にあるケリトの川のほとりに身を隠せ。その川の水を飲むがよい、わたしは鳥に命じて、そこであなたを養わせる(I 列 17:3-4) !」ということばに由来しています。

(聖母カルメル会祝詞編)

いのちの言葉 3月

わたしは主のはしためです。
お言葉どおり、この身に成りますように。

(ルカ1・38)

神は、聖母に対してなされたように、私たちにもご自分の計画を明らかにすることを望んでおられます。神は、私たちの真のあるべき姿を示してくださり、次のように言われます。「私はあなたの人生を一つの“すばらしい傑作”にできます。あなたもそれを望むなら、私が示す道を進みなさい。そうすれば、あなたに対する私の計画は実現するでしょう。私は永遠からあなたを思い、愛し、名前を与えました。私の望みを示しながら、本当のあなたの姿を見せてあげましょう」と。

ですから、神のみ旨とは、強制的に押しつけられることはありません。私たちに対する神の愛、私たちの上にある神のご計画が示されていくことなのです。

神のみ旨は、神と同じく崇高で、心ひかれる素晴らしいものです。神がご自身をお与えになるのです。神のみ旨は、聖なる金の糸のように、私たちの地上の生活と永遠の命を織りなすものです。永遠から始めて、永遠に続くものであり、初めは神の御心において、やがて地上に現れ、最後は天国に至ります。

しかし、この神のご計画が満ち満ちた形で成就するためには、聖母の時と同様、私たちも「はい」と答えるよう、神はお望みです。そうしてはじめて、私たち一人ひとりに対する神のご計画が実現します。ですから私たちも聖母と同じように答えるよう、招かれています。

わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。

もちろん、神のみ旨がはっきりとわからない時もあります。ですから私たちも聖母のように、神のお望みを理解するための光を願う必要があるでしょう。そして、自分をごまかさず、心の中の神の声によく耳を傾けましょう。また必要な時には、私たちを助けてくれる人に、相

談することもできるでしょう。そして、一度神のみ旨を理解したなら、すぐに「はい」と答えたいものです。神のみ旨こそ、私たちの生活の中で、最も偉大で最もすばらしいものだからです。私たちは、仕方がないから神のみ旨を“果たさなければ”というのではなく、喜んで“果たすことができる”のです。神のご計画が成就するよう、み旨に従うことができ、それは私たちができる最良のこと、最も賢いことです。

神の愛に愛で答えるため、「わたしは主のはしためです」という聖母の言葉を私たちも繰り返したいと思います。この聖母の言葉は、私たちがいつも神の方を向き、神に耳を傾け、神に従順であるよう助けてくれ、神のご計画が実現するため、私たちがみ旨だけを望むようにしてくれませう。

しかし時には、神のみ旨を生きるのが不可能だと感じることもあるでしょう。「そうしない方がいい」「自分の思い通りにやってしまいたい」と思うかもしれません。また神に向かって「これはこうして、あれはやらないで・・・」と、私たちの方が指図したくなるかもしれません。しかし、神が愛でおられることを信じ、神に信頼するなら、“私や周りの人々の生活で起こるすべてのことは、私やその人々の善のためだ”と理解できるでしょう。み旨を受け入れるとは、神ご自身を心から受け入れること、神に養われることだと知っているなら、私たちは完全な信頼をもって、自分を神にゆだね、み旨と一体になるまで、心からそれを望むことができますでしょう。

何一つ偶然に起こることはありません。うれしいこと、つらいこと、どちらでもよいこと、どんな出会いも、家庭や仕事、学校の状況も、精神的・肉体的状態も、すべてに意味があります。あらゆる出来事・状況・人々は、神のメッセージを伝えるものです。神のご計画が成就するために、すべてのことが役に立つのです。私

たちは聖母のように、神のみ旨を果たしながら、日々少しずつ、このご計画を発見していくでしょう。

わたしは主のはしめです。お言葉どおり、この身に成りますように。

では、今月のみ言葉をどのように生きればよいでしょうか？ 神のみ言葉に「はい」と答えるとは、神が望まれる行いを、私たちが瞬間瞬間、完全にしっかり果たすことを意味します。それ以外のことはすべてわきに置きましよう。他の考えや望み、思いや行動は後にして、その時その時すべきことに集中しましょう。

神のみ旨が苦しいもの、喜ばしいもの、代わりばえのしないものであっても、私たちは「お言葉どおり、この身に成りますように」と言うことができます。また、イエスが主の祈りの中で教えてくださった「み心が行われますように」という言葉を、一つひとつの行いをする前に言うこともできるでしょう。

このように生きるなら、私たちは“人生”というすばらしいモザイク画に、毎瞬間一つずつ石をはめていくことができます。各々のモザイク画は、世に一つしかないもの、神が永遠から私たち一人ひとりのために考えてくださったものなのです。

キアラ・ルービック

フォコラーレの創立者キアラ・ルービックが、2008年3月14日に帰天した後、彼女が過去に残した解説を「いのちの言葉」として取り上げています。今月の言葉は、2002年12月に発表されたものです

★ いのちの言葉は聖書の言葉を黙想し、生活の中で実践するための助けとして、書かれたものです。

★ いのちの言葉の集い

東京近辺の各地でいのちの言葉を読み、生活の中で実践した体験の分かち合いをしています。ご興味のある方は連絡先までよろしくお願ひします。

先月のいのちの言葉の体験談

「自分のエゴに対して「いいえ」と断ち切る時、そこからは、泉のように、新しい光、平和、喜び、愛、内面の自由が生み出されるのです。こうして私たちは聖霊に向かって、心の扉を開くこととなります」といのちの言葉にありました。

忙しい日々ですが、毎朝のミサで聖霊に助けを願いながら一日を始めるようにしています。ある日、歯科治療が終わって、急いで1階に下りると、眼科の治療を受けているMさんのご主人を見かけました。ずっと気にかけていた方だったので、すぐに次の予定を脇において、今は彼を助けるのがみ旨だと聖霊が教えてくれたように感じました。必要な手続きを手伝っている間に奥さんも来て、2人を自宅まで送ることにしました。車の中で、二人の今の状況や辛い胸の内を聞くことが出来、その日出会えたことをMさんはとても喜んでくれました。お礼のメールに「Fさんは、ご主人の介護もしているのに愚痴一つ言わないで偉いと思います。どうしたら平和な気持ちで過せるのですか？」と。これまでMさんには自分のことを話したことはなかったのですが、私の経験が助けになればと思い、辛く苦しい時こそ神様からの恵みを感じてきたこと、相手がどうして欲しいか、どうしたら嬉しいかな～と考えながら行動しているといつの間にか心が平和になることなどを伝えました。「私もやってみます」という返事が戻って来ました。その後、ご主人は緊急入院をすることになり、辛い状況は続いています。私には時々病院に行ったり、メールをしたりすることしか出来ませんが、神様が直接彼らの上に働いてくださるよう祈っています。

(FT長崎)

★ お知らせ

関東：キアラ・ルービック追悼記念ミサ
3月21日(月・祝) 14:00～
イグナチオ教会(四ツ谷)・マリア聖堂
(2F)

連絡先

フォコラーレ: 03-3707-4018/03-5370-6424

E-mail: tokyofocfem@ybb.ne.jp

ホームページ: [フォコラーレ](#)で検索

<http://www.geocities.jp/focolarejapan/focolaresito>

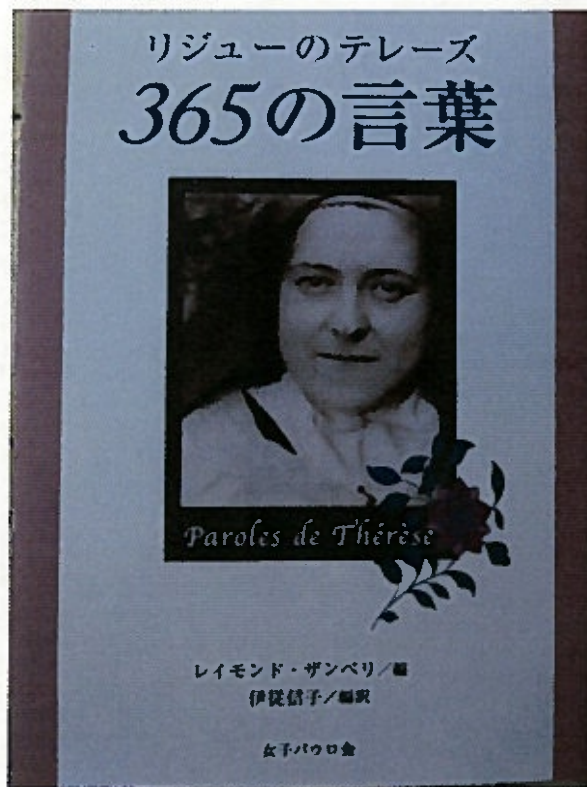
近刊紹介

神と人びとへの 燃える愛の心からあふれたてた短い言葉集

テレーズの短い人生のなかで残された言葉が

四季の花々のように光をあび、輝いています。

毎日美しい1日をはじめるために 愛と信頼、委託、喜びの言葉！



レイモンド・ザンベリ / 編

伊従 信子 / 編訳

女子パウロ会出版

391 ページ1200円 + 税

カルメル会の企画案内



2011年ワールド・ユース・デーと アヴィラのカルメル・ユース

このたび、2011年8月16日～21日にかけて、ワールド・ユース・デー本大会がスペインのマドリドで行われ、それに合わせてカルメル修道会カルメル・ユースがアヴィラで8月16日に行われます。

つきましては、アヴィラのカルメル会国際センターに宿泊しながら、ワールド・ユース・デーとカルメル・ユースに参加する企画を立てましたので、その旅行をご案内致します。

宿泊場所: スペインのアヴィラ カルメル会国際センター(通称CITES)

日程: 2011年8月14日(日)～8月24日(水)

目的: ワールド・ユース・デー参加(8月17日～21日)
カルメル・ユース参加(8月16日)・スペインのカルメル会修道院訪問(8月22日～23日)

随行者: 松田浩一神父(カルメル会司祭)と他一名のカルメル会士

参加対象者: カルメル会に興味を持つ20歳～40歳(健康な男女)

参加費用: 約25万円(宿泊費・交通費・大会参加費含む)。
尚、航空券の都合上、申込み期日より若干の参加費用の変動がある見込みですので、ご了承ください。
(なお、全費用は30万円のところ5万円をカルメル会から補助します)

参加人数: 10名まで



申込期間: 3月19日(土)ごろまで。

以上 申し込まれる方は、直接 松田神父にまで、下記の必要事項を記入の上、お渡し下さい。

① 氏名 ② 年齢 ③ 郵便番号 ④ 住所 ⑤ 電話番号(携帯) ⑥ E-mailアドレス(持っている人は) ⑦ 所属教会

尚、参加申込みされてから、航空券の費用の節約上、3月22日までに参加費用を払い込んでいただけます。
そのほかの詳しいプログラムは、順次確認していく中で、お知らせいたします。

またオプションとして、ハンガリーにお住まいのカルメル会修道院の訪問を予定しています。費用は別途必要となります。8月23日(火)～25日(木)の期間です。26日(金)に帰国予定です。共にご案内される方は、合わせてご連絡下さい。

《申込み先》〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12 男子蹴りカルメル修道会宇治修道院
TEL 0774-32-7456 FAX 0774-32-7457 E-mail teresiauj@mountain.ocn.ne.jp
WYD(World Youth) & EGY(Encounter of Carmel Youth)事務局 担当 松田浩一神父

主催: 男子カルメル修道会

カルメル会四旬節講話シリーズ

●テーマ：混沌の時代に生きる道を探して

●日 時：下記の各日曜日 午後2時半開始 入場無料(講話後、主日のミサ)

3月13日(日) 中川博道(カルメル修道会司祭)

「荒れ野を行く道 一十戒一」

3月20日(日) 川村信三(イエズス会司祭)

「教会史、民衆・信徒の立場から見た混沌の克服」

3月27日(日) 釘宮礼子(お告げのフランシスコ姉妹会)

「児童養護施設の現場から」

4月 3日(日) 松田浩一(カルメル修道会司祭)

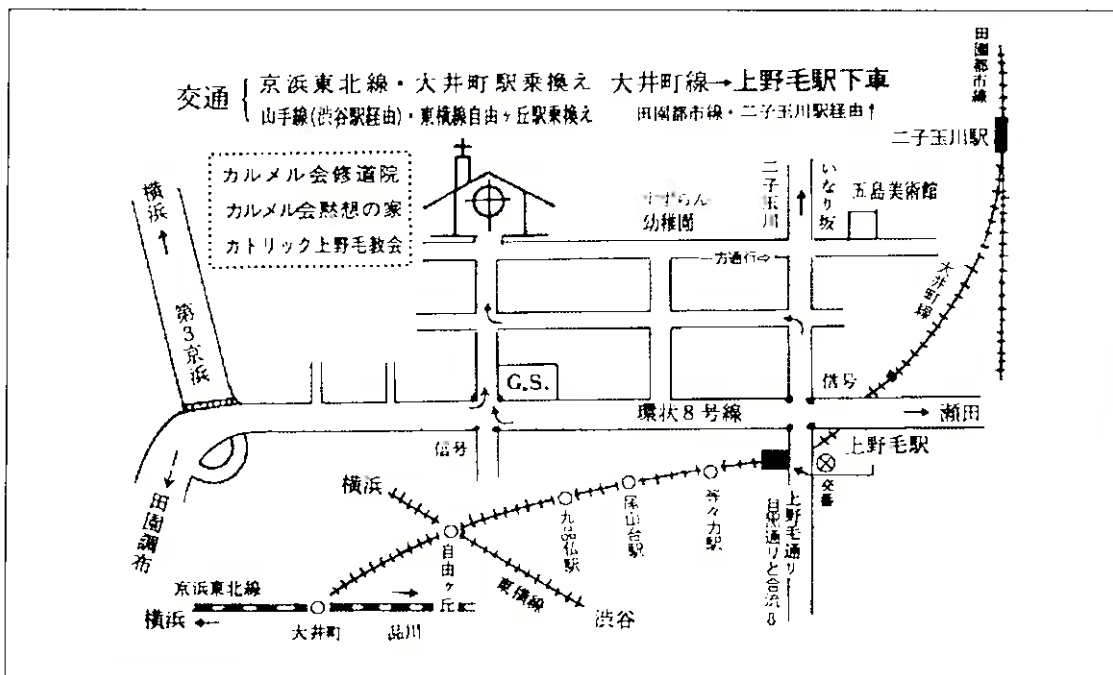
「神のいつくしみの中に生きるイエスの聖テレジア」

4月10日(日) 九里 彰(カルメル修道会司祭)

「暗夜の中を歩む 一十字架の聖ヨハネと共に一」

●場 所：カトリック上野毛教会聖堂(東急大井町線上野毛駅下車徒歩7分)

世田谷区上野毛2-14-25 カルメル修道会(TEL03-3704-2171)



上野毛霊性センター ～ '12年3月
黙想企画 ** 聖テレジア修道院(黙想) **

1. 一泊聖書深読指導：新井延和神父

(毎回金曜日夕食～土曜日16時)

2011年

4月15日～16日

6月17日～18日

9月 9日～10日

11月11日～12日

2. 奉獻生活者のための黙想会

2011年

7月31日(日)夕食～8月 9日(火)朝	中川博道神父
8月11日(木)夕食～8月20日(土)朝	カルメル会士
12月27日(火)夕食～1月 5日(木)朝	福田正範神父

3. 木曜黙想会(毎回木曜日10時～16時)

2011年度共通テーマ《いのち》

4月28日 「いのちの充満 ―復活祭の喜び―」	今泉 健神父
6月16日 「いのちの言葉」	福田正範神父
9月15日 「ほまれある長寿 ―知恵の書4章8～9節について―」	ベルナルド神父
11月17日 「いのちであるお方とともに」	古川利雅助祭

2012年

1月26日 「永遠のいのち ―霊から生まれた者は霊である―」	中川博道神父
--------------------------------	--------

4. 金曜黙想会カルメルの聖人(毎回金曜日10時～16時)

2011年

5月20日 「ご復活のラウレンシオ」	中川博道神父
7月 8日 「神の預言者聖エリヤ」	ベルナルド神父
10月28日 「福者三位一体のエリザベット」	古川利雅助祭
12月16日 「十字架の聖ヨハネ」	福田正範神父

2012年

2月17日 「幼きイエスの聖テレジア」	カルメル会士
---------------------	--------

5. 青年黙想会(男女) 福田正範神父、カルメル会士

4月29日(金)15時～ 5月 1日(日)15時

7月16日(七)16時～ 7月18日(月)16時

11月25日(金)16時～11月27日(日)16時

6. 召命黙想会(男女) 福田正範神父、古川利雅助祭、修練者

10月8日(土)16時～10日(月)16時

7. 祭日のミサに参加するために

【聖週間】 チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時
聖木曜日から復活祭まで通して参加可能です。またどの曜日からでも参加可能です。

2011年 4月21日(木)～24日(日)《講話なし、各食事つき》

【クリスマス】 チェックイン午後3時以降可、チェックアウト午前10時

2011年12月24日(土)～25日(日)《講話なし、夕食なし》

8. 特別黙想会 伊従信子(ノートルダム・ド・ヴィ)

テーマ：「私は神を見たい」

5月27日(金)20時～29日(日)16時 「聖堂に導かれて」

27日は夕食を済ませてご参加ください。

10月14日(金)20時～16日(日)16時 「祈り」

14日は夕食を済ませてご参加ください。

9. 待降節黙想会

12月 9日(金)夕食なし～11日(日)昼まで 指導：古川利雅助祭

電話でのお問い合わせは午前9時から午後4時45分までをお願いします。
またお申し込みは電話でもお受けしますが、間違いを避け、時間も問いません
のでなるべくFAX・はがき・Eメールでお願い致します(お返事はいたしません)

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

聖テレジア修道院(黙想)

TEL 03-5706-7355

FAX 03-3704-1764

e-mail:mokusou@carmel-monastery.jp

四旬節黙想会のお知らせ



日時 4月9日(土) 10:00~15:30
場所 カトリック上野毛教会
ご指導 福田 正範 神父(カルメル修道会)
テーマ 『わが神、わが神どうして
わたしをお見捨てになったのですか』

—— プログラム ——

(9:00 ~ 10:00	ゆるしの秘跡)	黙想会の前 9:00 から 『ゆるしの秘跡』を受けられます
10:00 ~ 11:00	講話(1)	(聖堂)
11:00 ~ 12:00	ゆるしの秘跡・黙想	(聖堂・他)
12:00 ~ 13:00	昼食	(信徒会館1階ホール)
13:00 ~ 14:00	講話(2)	(聖堂)
14:00 ~ 15:00	ミサ	(聖堂)
15:00 ~	茶話会	(信徒会館1階ホール)

参加申し込みの必要はありませんが、昼食
(サンドイッチ¥500程度)をご希望の方は
聖堂入り口の申し込み表に氏名をご記入下さい
4月3日(日)正午締め切り
なおお申し込みになった方は当日忘れずに
代金と引き換えにお受け取りください



カルメル青年黙想会

「神との親しさ」



- 日時： 4月29日(日)15時～5月1日(火)15時
場所： カルメル会聖テレジア修道院(黙想)
(東急大井町線上野毛駅下車)
対象： 青年男女(35歳まで)
定員： 20名
費用： 一般 10,000円 学生 7,000円
締切： 4月22日(金)〈必着〉
指導： 福田正範神父・カルメル会士



※住所・氏名・性別・年齢・電話番号・所属教会名を記入し、
ハガキ・FAX・Eメールのいずれかで下記まで。
折り返し、こちらよりご連絡させていただきます。

158-0093 世田谷区上野毛2-14-25
カルメル会聖テレジア修道院(黙想)
電話 03(5706)7355
FAX 03(3704)1764
Email: mokusou@carmel-monastery.jp

聖書講座

「キリストとの親しさ」

—出会いの神学—

キリストと出会った人々の姿を 聖書をとおして辿ります

担当：中川 博道 (カルメル修道会)

どなたでも いつからでもご参加ください

2011年 予定表

場所：カトリック上野毛教会 (信徒会館)

朝のクラス (火曜日)

夜のクラス (金曜日)

《10:30~12:00》

《19:15~20:45》

5月 10日	5月 6日
6月 7日	6月 3日
7月 5日	7月 1日
9月 13日	9月 9日
10月 11日	10月 14日
11月 8日	11月 11日
12月 6日	12月 9日

<お問い合わせ : carmel-reisei@hotmail.co.jp>



「カルメルの靈性に親しむ」

—カルメルの靈性をとおして イエスとの出会いの道を探します—

担当：中川 博道 (カルメル修道会)

どなたでも いつからでもご参加ください

2011年 予定表

場所：カトリック上野毛教会 (信徒会館)

朝のクラス (火曜日)

夜のクラス (金曜日)

《10:30~12:00》

《19:15~20:45》

5月17日	5月20日
6月14日	6月17日
7月12日	7月15日

<お問い合わせ：carmel-reisei@hotmail.co.jp>

※2011年4月～ 新番組

キリスト教放送局 **FEBC** AM1566kHz
 ●インターネット放送 ● www.febcjp.com ● ラジオ放送 ●
 24時間、いつでも聞けます 毎日更新 毎夜9:30~10:45 全国放送
 2011.4.3~2011.10.1
 夜10:15~
 ●今を生きる
 キリストを
 求めて

 中川 博道
 カトリック
 カルメル会 会士
 上野毛教会主任司祭

特別黙想会 《わたしは神をみたい》

聖霊に導かれる日々の生活のために

2011年5月27日（金）20時～29日（日）16時

現代社会の狂騒の中でも、祈りたい、神に出会いたいと望む方々へ。
さらに深く神と出会うために

しばらく沈黙のひと時を過ごしてみませんか。

神の霊によって導かれる者はみな
神の子です。

あなたがたは
人を奴隷として 再び恐れに陥れる霊ではなく
神の子とする霊を受けたのです。
—マテ・14・15—

聖霊よ わたしが必要とし、わたしが望み、
あなたのみ業を実現するために
あなたが必要としている
あなたとの親しい絆を
わたしのうちに造ってください。
「神と親しく生きるいのりの道」より



- 指 導： 伊 従 信子 （ノートルダム・ド・ヴィ会員）
- 持参品： 新約聖書、
『神と親しく生きる いのりの道』マリー・エウジェンヌ ocd 著、聖母文庫
（黙想の家で購入できます）
筆記用具、バジヤマ
- 参加費： ￥12,000
- 場 所： カルメル会上野毛聖テレジア修道院（黙想の家）
158-0093 東京都世田谷区上野毛2-14-25 Tel. 03-5706-7355
- 申し込み方法 上野毛黙想の家係りまで

2011年 黙想会案内 (宇治カルメル会)

【一般のための黙想】

- ・ 1泊2日
(午後5時～午後4時)

5月21日(土)～22日(日)	希望	新井延和神父
7月 2日(土)～ 3日(日)	今日を生きる	新井延和神父
9月 3日(土)～ 4日(日)	人を赦すこと	九里彰神父
11月19日(土)～20日(日)	ユダヤ人の王	新井延和神父

【聖書深読黙想会】

- ・ 1日
(午前10時～午後4時)

4月30日(土)	渡辺幹夫神父
6月11日(土)	松田浩一神父
10月 8日(土)	九里彰神父
12月10日(土)	新井延和神父

・ 水曜の黙想

- (午前10時～午後4時)

3月 30日(水)	悔い改めにふさわしい実とは	九里彰神父
4月 13日(水)	復活の希望キリスト	松田浩一神父
5月 11日(水)	聖霊の賜物	松田浩一神父
6月 22日(水)	三位一体	新井延和神父
7月13日(水)	幼子の心	九里彰神父
9月 14日(水)	私たちの生活と十字架	松田浩一神父
10月 12日(水)	ロザリオの祈り	松田浩一神父
11月 2日(水)	死とは何か	新井延和神父
12月 14日(水)	愛の生ける炎	九里彰神父

・ 待降節の黙想

- (午後5時～午後4時)

12月 3日(土)～12月 4日(日)	松田浩一神父
---------------------	--------

・ 聖テレーズの黙想

- (午後5時～午後4時)

9月30日(金)～10月 1日(土)	伊従信子師
--------------------	-------

【一般のための黙想】

- (午後5時～午前9時)

5月 3日(火)～ 5月 5日(木)	新井延和神父
--------------------	--------

- 【青年のためのキリスト教霊性
対象：40歳以下の青年男女
(午後5時～午後4時)

5月 7日(土)～ 5月 8日(日)	松田浩一神父
11月 5日(土)～ 11月 6日(日)	松田浩一神父

奉獻生活者の黙想

- (午後5時～午前9時)

8月 3日(水)～ 8月 11日(木)	松田浩一神父
8月 18日(木)～ 8月 26日(金)	九里彰神父
12月 27日(火)～ 1月 4日(水)	新井延和神父

— その他皆さまが企画なさったグループ黙想会、個人黙想も歓迎いたします。 —

☆お申し込みは、電話でも受け付けておりますが、できるだけFAX、はがき、Eメールでお名前と連絡先を御記入の上、お申し込み下さい。お電話は、なるべく午前9時～午後5時の間をお願いいたします。受け付けが休みの場合は、その場ですぐにお返事できませんので、お手数でも後日改めてお問い合わせ下さる様をお願いいたします。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12
 宇治カルメル会 聖テレジア修道院 (黙想)
 Tel 0774-32-7016, Fax 0774-32-7457
 E-Mail: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

『社会人(働いている人)のための霊的同伴』

—日常のキリスト教霊性を求めて—

日々、現代社会で忙しく働いている皆様に、この静かな一時を提供する企画です。この一泊の企画は、キリスト者の霊的・心的修養を目的として、霊的同伴(スピリチュアル・コーチング)を中心としながら、皆様のお手伝いをします。

【内容】

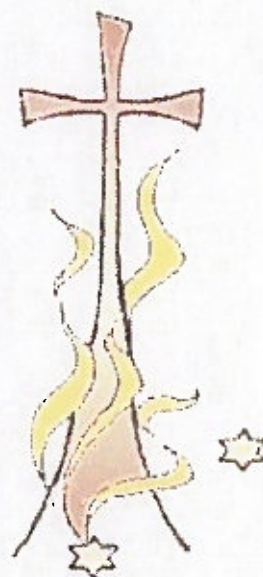
- この企画は、個人的霊的修養でもありますので、一般的な講話はありません。
- 各人の信仰からの日常生活を見つめる視点(霊的理解)を促進しますので、この静かな一時の中で短い個別同伴(一人30分)を行います。
- メソッドの一つとしてスピリチュアル・コーチングを適用して、参加者一人ひとりの視点を尊重します。
- キリスト者としてのパーソナルな統合はキリストのうちにやられるものですので、信仰・希望・愛を培い、この三つの対神徳をベースにおいて行います。

【参加者人数】 6人

【開催日】

- ① 2011年 1月21日(金)～22日(土)
- ② 2月18日(金)～19日(土)
- ③ 3月25日(金)～26日(土)
- ④ 4月15日(金)～16日(土)
- ⑤ 5月13日(金)～14日(土)
- ⑥ 6月17日(金)～18日(土)
- ⑦ 7月22日(金)～23日(土)
- ⑧ 9月 9日(金)～10日(土)
- ⑨ 10月28日(金)～29日(土)
- ⑩ 11月11日(金)～12日(土)
- ⑪ 12月16日(金)～17日(土)★
- ⑫ 2012年 1月13日(金)～14日(土)
- ⑬ 2月10日(金)～11日(土)
- ⑭ 3月16日(金)～17日(土)

(毎回金曜日 20時(夕食なし)～土曜日 15時)



【参加費】 各回 5,500円

【霊的同伴】 松田浩一神父(カルメル会士)

【申込み方法】 参加希望者は、前日の木曜日 16:45迄に、下記の聖テレジア修道院(黙想)へFAX、はがき、Eメールで申し込んでください。

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山39-12
カルメル会宇治聖テレジア修道院(黙想)
Tel 0774-32-7016、Fax 0774-32-7457
E-Mail: teresiauji@mountain.ocn.ne.jp

「立ちどまって、ひとりになって、聴いてみよう！」

～都会の中の一泊静修～（2011）

「私たちの間にある神の国を探して」—今の時代に芽生える神との新たな出会い—

「神の国は見える形では来ない『ここにある』『あそこにある』と言えるものでもない。実に、神の国はあなたかとの間にあるのだ」（ルカ17章21節）

“混乱の時代” “行き詰まりの時代” “崩壊の時代”・・・と言われる時代の中にも、「見よ、わたしは新しい天と新しい地を創造する。初めからのことを思い起こす者はない。それはだれの心にも上ることはない。」

（イザヤ65章17節）という神のみ言葉は力強く響き始めています。第2バチカン公会議終了後やがて半世紀を迎える現代世界と教会の中に、新しい神との出会いは生まれ始めています。

2011年はこの「神の国の芽生え」を私たちが日常生活の中に探す光を共に探しつつ歩みたいと思います。

第1回	1月10日(月・祝)	混沌の中に差し込む光(創世記1章)	中川博道神父(上野毛修道院)
第2回	2月26日(土)	主が示される地に向かって(創世記12章)	松田浩一神父(宇治修道院)
第3回	3月12日(土)	絶望の中の光(イザヤ43章、65章)	高山貞美神父(聖心布教会)
第4回	4月9日(土)	新しい派遣(列王記19章)	新井延和神父(宇治修道院)
第5回	5月5日(木・祝)	新しい契約(エゼキエル36章)	今泉健神父(上野毛修道院)
第6回	6月25日(土)	神の国の芽生え(マルコ4章)	三上和久神父(三馬修道院)
第7回	7月18日(月・祝)	わたしの中に生きるキリスト(ガラテア2章)	ポクダン神父(南山教会)
第8回	9月17日(土)	キリストの新しい旋(ヨハネ13章)	Sr.パウリナ(宣教カルメル修道院)
第9回	10月22日(土)	新しい生活(改革)、アヴィラの聖テレジア	松田浩一神父(宇治修道院)
第10回	11月23日(水祝)	新しい生き方の根、十字架の聖ヨハネ	九里彰神父(宇治修道院)

* 時間 AM10:00～PM4:00

* 場所 カトリック日比野教会(地下鉄・名城線日比野下車徒歩約5分) *聖テレジア幼稚園隣接

* 参加費 1,000円

* 持ってくるもの 聖書、筆記用具、ロザリオ、弁当

* 定員 約30名

* プログラム
 10:00～ 祈り・導入・黙想
 10:30～ 講話(1)
 黙想・赦しの秘跡または面接
 11:50～ 昼の祈り・お告げの祈り
 12:15～ 昼食
 12:50～ 黙想・赦しの秘跡または面接
 13:30～ 講話(2)
 14:45～ ミサ
 15:30～ 茶話会・分かち合い
 16:00～ 終了予定

☞ 申し込みは、下記の住所へハキかFAXで、氏名・住所・TEL、(所属教会)を記載の上、開催日の3日前までに必着のこと。なお、日比野教会で葬式などがある場合は、中止となりますので、ご了承下さい。

☆ 名古屋カルメル靈性センター

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝4-5-17 カルメル会日比野修道院 FAX 052-671-1825

一日静修連絡係 〒465-0058 名古屋市名東区貴船3-2115 小林 厚・晃子

TEL・FAX 052-701-3685

2011年度名古屋聖書深読会

第1回 5月28日(土) 新井延和神父(宇治修道院)

第2回 10月29日(土) 新井延和神父(宇治修道院)

- 時間 午前10時～午後4時
- 場所 カトリック日比野教会
地下鉄名城線日比野下車、徒歩約5分 *聖テレンシア幼稚園隣接
- 参加費 ￥1000
- 持ち物 聖書・筆記用具・ノート・昼食等

* 毎回、事前に「名古屋教区ニュース」でお知らせします。

* 申し込みは、開催日の3日前までに Fax またはハガキで下記へお願いします。信徒の方は、所属教会名も記載下さい。

* 対象は、信徒、未信徒の別を問いません。キリストの教えに関心のある方なら、どなたでも構いません。

⇒ 申し込み先

名古屋カルメル霊性センター

〒456-0062 名古屋市熱田区大宝4-5-17

カルメル会日比野修道院

FAX 052-671-1825

☆連絡係

〒465-0058 名古屋市名東区貴船3-2-115

小林 厚・晃子

TEL/FAX 052-701-3685

跣足カルメル修道会HP (International)

世界的な跣足カルメル修道会のホームページ <http://www.carmelitaniscalzi.com> の記事を紹介します。



<< Communications (時事通信) >>

跣足カルメル修道会東アジア・オセアニア地区の神学生集会

【タイで最初の跣足カルメル修道会設立式典ミサ】

タイ サンプラン2011年2月11日発通信：

オーストラリア、インドネシア、韓国、フィリピン、シンガポールから跣足カルメル修道会の神学生と養成責任者が、2010年12月27日から2011年1月2日までの一週間、タイのサンプランにある司牧養成センター“種まきの家”で開催された「東アジアとオセアニアの神学生集会」に参加した。この集会は、台湾・シンガポールの総長代理区により組織されたもので、研修及び学生達と養成責任者間の交流を目的とする集いであった。跣足カルメル修道会アジアの総長顧問であるピータ・チュング神父、とオーストラリアの管区長グレッグ・ホミング神父も共に参加された。

この集会の研修と黙想のトピックは、“祈りを話そう”であり、オーストラリアの管区長が、イエズスの聖テレジアの著作「完徳の道」の観点から講話された。

【タイ最初の跣足カルメル修道会がサンプランで設立】

この神学生集会の締めくくりは、2011年1月1日にサンプランで行われた跣足カルメル修道会創立の式典であり、まさに台湾・シンガポール総長代理区にとって歴史的な記念すべき時であった。思い起こせば、2000年にタイからの最初の修道者が入会して以来11年が経ち、彼らはずいぶん自国のタイで最初の跣足カルメル修道会の修道院を創立することができた。彼らはこの家を、ポーランドの跣足カルメル会士、聖ラファエル・カリノフスキー神父に奉げた。この日、修道院創立の式典ミサは、創立の地であるチャンマイのミカエル・ミチャイ・キットブンチュ名誉枢機卿が司式され、ジョセフ・サンクアン現司教が共同司式をされた。そして、バンコク大司教区及びラッチャブリ司教区の司祭団、カプチン・フランシスコ修道会とサレジオ修道会の司祭達、そして今回の神学生集会に参加した跣足カルメル修道会のメンバー達が大量参加した。

キットブンチュ名誉枢機卿はミサの中で、この新しい跣足カルメル修道会の設立は、“希望のしるしである”と讃え、彼らの存在そのものが女子跣足カルメル修道会の大きな助けになるのみならず、バンコク大司教区の全ての修道会にとっても大切な意義をもつものである

ことを強調した。

聖書深読センターのご案内

- 1 東 京・・・上野毛聖テレジア修道院（黙想）のご案内をご覧ください。
- 2 宇 治・・・宇治聖テレジア修道院（黙想）のご案内をご覧ください。

通信深読について

通信深読は、現在何箇所かで行われているようです。そのうち2箇所が新たに参加可能なので、紹介します。

1 朝日カルチャーセンターの通信講座

参加者は、「個人素読」（記号、全、所感、近況報告などを書くB5用紙）を提出。講師のコメントが記入されて返送される。参加者全員の「個人素読」と「素読表」そして解説が冊子になって送られる。

費用：6ヶ月 18,900円（4、7、10、1月に納入） 継続の場合は 16,900円

講師：九里彰師（奇数月） 新井延和師（偶数月）

問い合わせ：〒163-0278 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル

私書箱 21号 朝日カルチャーセンター通信講座部

電話 03-3344-2527（直通）

2 ミニ深読

グループで2、3時間かけて聖書深読法の一部を行います。

聖書深読黙想会に参加経験のある方に限ります。

遠方に、参加希望者が多数いる場合には、有光、またはSrパウリーナが指導に行くことも可能です。

問い合わせは「聖書深読センター」事務局 Srパウリーナまでご連絡下さい。

- ◎ 聖書深読に関してご質問のある方は、下記聖書深読センターにお問い合わせ下さい。



聖書深読センター

〒611-0002 京都府宇治市木幡御蔵山 39-12 カルメル会聖テレジア修道院（黙想）

所長：奥村一郎神父 事務局長：新井延和神父 連絡先：Srパウリーナ

TEL 0774-32-7016 FAX 0774-38-2543

Eメール carmis@mbox.kyoto-inet.or.jp

諸所の企画案内



心のいほり

真命山霊性交流センター

リーゼンフーバー神父キリスト教講座

ノートルダム・ド・ヴィ

マリアの御心会

ノートルダム教育修道女会

コングレガシオン・ド・ノートルダム アソシエート

※注)

諸所の企画記事は集約・編集しています。

記載には注意を期しておりますが、

詳細は各問い合わせにご照会下さい。

よろしくお願い致します。



諸所の黙想企画ご案内

※各黙想内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。

心のいほり 内観黙想センター

先の予定表と若干変わっていますので、開始の曜日や時間などにご注意ください。

◎参加費用は、6泊7日ですべてを含み関西地区の会場は6万円、他地区は6万5千円です。

◎Eメール・ファックス・手紙でセンターに問い合わせてください。電話では取り次いでおりません。

申し込みは10日前迄に完了、お願いします。会場予約準備がありますので。

◎572-0001 大阪府寝屋川市成田東町3-27「心のいほり 内観黙想センター」 藤原神父
FAX 072-802-5026 Eメール fujinao1944@nifty.com
http://www.com-unity.co.jp/naikan (ホームページ・アドレス)

◎予約の決まった後に、会場までの詳しい地図などの書類をお送りします。

(★)印の会場では、藤原神父以外の司祭も面接同行する可能性があります。

2011年(6泊7日) 午後2時より 終了日午後2時迄

M2 04/03(日)-04/09(土) 兵庫・売布・女子ご受難会

★N1 04/30(土)-05/06(金) 滋賀・唐崎・ノートルダム

O1 05/19-05/23 沖縄・伊江島、沖縄県人向け内観(4泊5日)

K3 05/31(金)-06/06(木) 東京・小金井・聖霊会

★N2 06/24(金)-06/30(木) 滋賀・唐崎・ノートルダム

N韓 07/06-12 韓国グループ向け限定内観 滋賀・唐崎・ノートルダム

Y2 07/18(月)-07/24(日) 神戸・須磨・ヨハネ

S韓 08/13-19 韓国グループ向け限定内観 長野大鹿村・早々庵

S1 08/21(日)-08/27(土) 長野大鹿村・早々庵

M3 09/11(日)-09/17(土) 兵庫・売布・女子ご受難会

N3 09/24(土)-09/30(金) 滋賀・唐崎・ノートルダム

K4 10/07(金)-10/13(木) 東京・小金井・聖霊会

★N4 10/20(木)-10/26(水) 滋賀・唐崎・ノートルダム

真命山 2011年 - 祈りの集いのご案内

真命山の霊性



自然

神はすべてを作り
人の手に委ねられた

陽の昇るところから
陽の沈むところまで

祈り

静けさ

沈黙の中に神の
言葉を聞こう

信仰体験を
分かち

交わり

指導者
フランコ・ソットコルノラ神父
(真命山院長)
ダニエレ サルティ・サルトリ
神父
Sr.マリア デ・ジョウルジ



通年のテーマ：

典礼暦年間で教会とともに祈る

祈りの集い (毎回午前10時～午後2時半)

- 04月 14日 過越の三日間
- 05月 12日 復活節
- 06月 09日 聖霊降臨の祭日
- 07月 14日 聖人の記念日 - 2
- 09月 08日 聖人の記念日 - 3
- 10月 13日 日曜日：主の日
- 11月 10日 待降節 - 1
- 12月 08日 待降節 - 2

申し込み先
865-0133
熊本県玉名郡和水町1391-7
真命山諸宗教対話・霊性交流
センター
TEL 0968-85-3100
Fax 0968-85-3186
E-mail: shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

個人またはグループでの黙想会や研修会も
歓迎いたします。
(要予約)

リーゼンフーバー講座・集いの案内 2011年

●キリスト教入門講座

金曜日 18時45分～20時30分

聖イグナチオ教会信徒会館3階アルベホール。
どなたでも。聖書に基づきキリスト教の基本テーマを取り扱います。

●キリスト教理解講座

毎月第1・第3・第5火曜日 18時45分～20時30分
聖イグナチオ教会信徒会館3階。キリスト教の基礎知識を持っている方。2年間のコース。信仰理解と信仰生活の深まりを目的とし、キリスト教の中心的テーマを探求します。

●土曜アカデミー 以下の土曜日、
9時30分～12時30分、岐部ホール4階404、
19・20世紀近代・現代のキリスト教関係の
思想・哲学・神学を考察します。思想史とキリスト教の関係に関心を持っている方、プログラム等に関してHP(文末)を見て下さい。

夏学期: 古代末期教父時代(2-7世紀)

4/2、4/9、4/16、5/7、5/14、5/21、5/28、
6/4、6/18、7/2、7/9、7/23、9/3、9/10

●坐禅会

月曜日 17時20分～20時10分

木曜日 18時～20時30分

(祝日、4月21日を除く)

場所: 上智大学内クルトウルハイム1階正面左の部屋

3回坐り、間に講話があります。

初心者も歓迎です。遅刻も不定期の参加も可。

●接心

秋川神冥窟 1泊2400円程度

関東

04月28日(木):20時30分-5月4日(水) 10時

06月24日(金):20時30分-26日(日) 10時

08月07日(日):20時30分-14日(日) 10時

09月21日(水):20時30分-25日(日) 10時

11月02日(水):20時30分-11月6日(日) 10時

関西

7月30日(土)17時30分-8月5日(金)13時 宝塚市

連絡先 シスター田中 電話 0797-84-3111

●ミサ 水曜日 17時10分～18時

上智大学内クルトウルハイム1階右小聖堂

どなたでも。但し祝日、8月全体、9月21日、11月2日、1月4日は休み。

●ミサ後の黙想

18時～18時30分 上智大学内クルトウルハイム1階右小聖堂

どなたでも。但し祝日、8月全体、9月21日、11月2日、1月4日は休み。

●祈りの集い 下記の土曜日

13時30分～16時 上智大学内S.J.ハウス第5会議室
講話、黙想、ミサがあります。

4月9日、5月7日、6月4日、7月9日、8月6日、9月10日、
10月8日、11月12日、12月3日、
2012年1月7日、2月18日、3月10日

●ロザリオの祈り 同日16時10分～50分

クルトウルハイム1階右小聖堂

●黙想

【会社婦人の黙想】

毎月第2・第4火曜日 18時45分～20時

聖イグナチオ教会マリア聖堂、どなたでも。

但し祝日、8月9日休み。8月23日は上智大学内クルトウルハイム聖堂。

【お昼の黙想】 毎月第1・3火曜日

10時40分～12時 聖イグナチオ教会

マリア聖堂 但し祝日、8月2日は休み。

●黙想会

6月11日(土)10時～12日(日)15時(上石神井)

9月17日(土)10時～18日(日)15時(東村山)、

11月26日(土)10時～27日(日)15時(東村山)、

2012年 2月4日(土)10時～5日(日)15時(東村山)

*1泊5900円程度

[関西] 10月1日(土)13時～2日(日)15時(宝塚)

●アガベ会

4月16日(土)

6月18日(土)

10月22日(土)

2012年 1月21日(土)

説明会・集い(13時半～): 上智大学内S.J.ハウス第5会議室

ミサ(17時～): クルトウルハイム1階テレジア聖堂

※リーゼンフーバー神父様HPアドレス

http://www.jesuits.or.jp/~j_riesenhube/

リーゼンフーバー神父キリスト教入門・理解講座

リーゼンフーバー神父キリスト教

入門講座 2011年

日時 毎週金曜日

18時45分～20時30分

- 04/08 信仰の道— 人生の意義を問う
04/15 聖書の人間像— 人間の現状と使命
04/22 休み
04/24 復活祭のミサ(13時、上智大学内クラトウルハイム2階、80人限定)
05/06 旧約聖書の神体験— 聞くことと見ること
05/13 神認識の道— 理性と経験を通して
05/20 創造された世界— 人間存在の根拠と自然の意味
05/27 歴史と信仰— 神と人間との出会い
06/03 新約聖書の神理解— 主なる父
06/10 祈りによる神理解— 神の偉大さと近さ
06/11-12 黙想会(上石神井)
06/17 救い主の役割— 人類の待望
06/24 神の国— イエスの告げるメッセージ
07/01 イエスの生き方— 神に遣わされて人に仕える
07/08 イエスの人間関係— 罪人と弟子と共に
07/15 イエスは誰か— イエスの自己理解
07/22 最後の晩餐— 自分を与えるイエス
07/23 感謝のミサ(14時、上智大学内クラトウルハイム2階、80人限定)
07/29 イエスの受難— その史実と意図



※リーゼンフーバー神父様HPアドレス

リーゼンフーバー神父キリスト教

理解講座 2011年

日時 第1・3・5火曜日

18時45分～20時30分

倫理の基礎づけ

- 04/05 人間の尊厳— 自律と自己超越
04/19 人生の目標— 神の「似姿」としての真なる人間
04/24 復活祭のミサ(13時、上智大学内クラトウルハイム2階)
05/17 人間以外のものの意義— 世界の使用と聖化
05/31 創造・歴史・救い— イエスという中心
倫理的行為
06/07 行為の規範— 人間らしさと神の呼びかけ
06/11-12 黙想会(上石神井)
06/21 自己実現— 責任と自由
07/05 性格の形成— 自己受容と善への憧れ
07/19 人間の弱さ— 誘惑と罪
07/23 感謝のミサ(14時) / 上智大学内クラトウルハイム2階
08/02 休み
08/16 魂の癒し— 恩寵・心の入れ替え・ゆるし / 上智大学内クラトウルハイム2階
08/20-28 通う霊操 (18時～20時45分) / 上智大学内クラトウルハイム2階

《場所・お問い合わせ》

聖イグナチオ教会(四ツ谷駅前)

信徒会館3階

アルペホール TEL 03・3263・4584

クラウス・リーゼンフーバー神父

〒102-8571 千代田区紀尾井町7-1

上智大学SJハウス

電話 03-3238-5124(直通)

-5111(伝言)

Fax 03-3238-5056

http://www.jesuits.or.jp/~j_riesenhube/

いのちの泉へ（ノートルダム・ド・ヴィ）

●「いのちの泉へ」
すべての人のための祈りの集い

カルメルの霊性に学びつつ、キリスト者としての霊性を養うための講話と、沈黙の祈りで構成された集いです。

4月09日(土)
5月14日(土)

講話 伊従信子
午後2時～午後5時30分位まで、
講話、祈り、分かち合い。
参加費 200円

余震などの影響で、急遽中止になる事も考えられます。参加をご希望の方は、当日の午前～2時迄にお電話かFAXでこちらまでご連絡頂けますと幸いです。

申し込み・お問い合わせ

ノートルダム・ド・ヴィ

〒177-0044

練馬区上石神井4-32-35

TEL(03)・3594・2247

Fax(03)・3594・2254

E-mail notredamedevie.japan@gmail.com

ホームページ

<http://www.ndv-jp.org/>

カルメル会の霊性を受け継ぐノートルダム・ド・ヴィ(いのちの聖母会)は、現代社会のあらゆる場で社会人として働きながら、神への全き奉獻を通して、祈りと活動の一致を生きることを、その精神・理想としています。

マリアの御心会

「来て、見なさい」

「私はあなたと共にいる」

—主よ、私の道はどこに—
祈りと分かち合い

テーマ：私が思う私の姿 5/8(日)
：神のみこころ 6/12(日)
：人々の中の私 7/10(日)

時間：14:00～17:00 *ミサはありません。

対象：自分の道を探している

35歳までの独身女性

場所：マリアの御心会 (JR信濃町下車3分)

会費：各回500円

担当：マリアの御心会会員

申込み：新宿区南元町6-2 マリアの御心会

電話03-3351-0297

ノートルダム教育修道女会・唐崎修道院

- ◎ 所在地： 〒520-0106 滋賀県 大津市 唐崎 1丁目 3-1
Tel: 077-579-7580
Fax: 077-579-3804
E-メール: karainorind92@mbe.nifty.com
- ◎ 交通： JR京都駅から湖西線で三つ目「唐崎」下車。
琵琶湖の方へ徒歩 約13分
- ◎ 日程：
A. 8日間の個人指導による黙想
初日は、17時のミサで始まり、最終日は昼食で終わります。
① 了
② 4月29日(金)～ 5月 7日(土)
③ 6月23日(木)～ 7月 1日(金)
④ 8月14日(日)～ 8月22日(月)
⑤ 9月23日(金)～ 10月 1日(土)
⑥ 10月19日(水)～ 10月27日(木)
⑦ 11月14日(月)～ 11月22日(火)
⑧ 11年12月27日(火)～12年1月 4日(水) 予定
- B. 祈りの体験：週末3日間(金曜日の夕食～日曜日の昼食)
【神との親しさの中で日常を生きるために】
① 了
② 了
③ 4月 8日(金)～ 4月10日(日)
④ 5月20日(金)～ 5月22日(日)
⑤ 7月 22日(金)～ 7月24日(日)
⑥ 9月 2日(金)～ 9月 4日(日)
⑦ 12月 2日(金)～ 12月4日(日)
- C. 講話 黙想(奉獻生活者のため)
5月27日(金)～6月4日(土) 裏辻 洋二 師(イエズス会)
- ◎ 対 象：信徒、修道者、司祭、洗礼を受けていない方、どなたでも参加できます。
- ◎ 霊的同伴者：菊池 陽子(ノートルダム教育修道女会) 松本 佳子(ノートルダム教育修道女会)
その他 若干名
- ◎ 申込み： 1) 名前 2) 住所 3) 電話番号 4) 希望日程(番号)を書いて
郵送、または、Faxで「黙想係」松本佳子 へ申し込んでください。
唐崎修道院への案内地図の必要な方は、その旨を書き添えて下さい。
- いずれの場合も、10日前までに申し込んでください。先着順11名です。
- ◎ その他：司祭同伴の黙想会やグループ研修会のために修道院をご利用なされたい方はご相談ください。(但し、上記の日程と7月30日～8月12日を除きます。)

※各黙想会内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。

コングレガシオン・ド・ノートルダム アソシエート

【一日黙想会のご案内】

テーマ：マリアとともに

指導：幸田 和生 司教様（東京教区補佐司教）

日時：5月28日（土）10：00～16：00 受付 9：30～

場所：コングレガシオン・ド・ノートルダム調布修道院

〒182-0034 調布市下石原3-55-1

対象：男女・年齢を問わず、どなたでもどうぞ。

会費：2,000円（お弁当を含む）

申込み：5月21日（土）まで。電話〔0424-82-2012〕

FAX〔0424-82-2163〕

定員：80名まで受け付けます。

主催：コングレガシオン・ド・ノートルダム アソシエート

* 当修道院は新宿より京王線で調布駅下車。北口を出て、線路沿いに西調布駅方面に歩く。立体交差の下をくぐり左折。踏切を渡って200m歩き、二つ目の信号を右手（鶴川街道沿い）マルガリタ幼稚園内。徒歩で20分。タクシーで5分。



※各黙想会内容・日程等、詳細については各問い合わせ先に、ご確認ください。



預言者エリヤの像

イスラエル カルメル山 エリヤの洞窟

カルメル霊性センターニュース の読者の方へ

100 円献金の一時中止

先月号において、「霊性センターニュース」をお読みになる方に、一冊 100 円程度のご寄付をお願い、実施いたしました。が、ご存じのように、先月 3 月 11 日、東北関東大震災が起り、被災者の方々の援助のため、また被災地の復興のため、日本だけでなく、世界中で義捐金が集められています。

このような時期に、100 円という小額ではありますが、皆さまから献金をいただくことは、自粛したいと思います。何よりも、今なお被災地や県外で不自由な避難生活を余儀なくされている多くの被災者の方々へ、義捐金としてお返しください。(従来の形での献金は受けつけます。)

被災地の復興が一段落した時点で、またご協力をお願いすることになると思いますので、その時は、またよろしく願います。

霊性センターニュース編集部

『靈性センターニュース』 郵送ご希望の方

下記まで、郵送ご希望の月数分×220円を現金で送ってください。切手では受け付けておりません。これは、あくまでも郵送代実費です。

〒158-0093 東京都世田谷区上野毛 2-14-25

カルメル会上野毛修道院 「靈性センター事務局」

「靈性センターへの献金」のお願い

「靈性センターニュース」は、現在、上野毛靈性センターで編集、印刷、製本、発送等を行っておりますが、経費はすべてカルメル会で負担しております。読者の皆様のご理解とご協力をいただければ、幸いです。

* 献金される方は、下記の口座へお振り込みください。

郵便番号口座： 00110-4-297250

加入者名： カルメル靈性センターニュース

なお通信欄へは「献金」とご記入ください。これは、上記の郵送代ではなく、献金として取り扱わせていただきます。



編集後記

先月11日（金）に、とてつもない大地震が起こり、その後、10メートルを超す大津波が三陸海岸一帯を襲った。その映像を、私たちはまるでスポーツの実況中継を見るように、茶の間で目の当たりにした。防波堤を越え、山間の港町を押し流すのに、一分とかかかっていなかった。自然の猛威の前に、人々は啞然と傍観するばかりであった。ノアの洪水の時の神の言葉を思い起こす。

主は、地上に人の悪が増し、常に悪いことばかりを心に思い計っているのを御覧になって、地上に人を造ったことを後悔し、心を痛められた。主は言われた。

「私は人を創造したが、これを地上からぬぐい去ろう。人だけでなく、家畜も這うものも空の鳥も。わたしこれらを造ったことを後悔する」。 (創6:5~7)

(P. 九里)



◆◆◆ 製本／発送のご協力お願い ◆◆◆

「靈性センターニュース」の製本／発送は、毎月第四火曜日（原則）に行われます。
作業はホッチキス綴じと購入者様への発送のみです。皆様のご協力をお待ちしております。
初めての方、不定期参加の方も、大歓迎です。お茶とお菓子の時間もありますよ♪

「5月号」製本日 4月19日（火） 上野毛教会信徒会館ホール1階
午後1時半頃から～

※参加ご希望の方は、念のため、製本日をご確認下さい。靈性センター係

TEL 03・3704・2171